

単元名 曲想を味わいながら合わせて歌おう

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 曲想と楽曲の構造との関わりを理解するとともに、全体の響きや声部の声などを聴きながら合唱を歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 曲想と楽曲の構造との関わりを理解したり、他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現を創意工夫している。
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

11260204_001

【教材名】そよぐ風の中で 等 (上 P. 20～P. 23)

【準備等】範唱音源, パート別音源

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 楽曲の構造を確認し、練習計画を立てる。</p> <p>★曲想を味わいながら合唱しよう。</p> <p>○範唱音源を聴いて、課題をつかむ。</p> <p>○主旋律の現れ方や声部の役割を理解する。</p> <p>○楽曲の構成を確認する。</p> <p>○練習計画を立てる。</p> <p>2 パートごとに表現しながら、担当するパートの役割を理解する。</p> <p>★それぞれの役割を考えて歌おう。</p> <p>○それぞれのパートごとに練習する。</p> <p>○主旋律の現れ方、他声部との関係、強弱の設定を確認しそれぞれのパートの役割を考えながら練習する。</p> <p>3 学級で交流しながら楽曲にふさわしい表現を工夫する。</p> <p>★パートごとの工夫を学級の表現に生かそう。</p> <p>○パートごとの活動内容を発表交流する。</p> <p>○拡大楽譜に書き込むなどして、学級としての表現をまとめる。</p> <p>4 指揮で曲想を表現する。</p> <p>★歌唱のよさを引き出せるような指揮をしてみよう。</p> <p>○思いや意図を生かすような表現を引き出す指揮を創意工夫する。</p> <p>○全体の響きを確かめながら合唱をする。</p> <p>5 学級としての表現をまとめる。</p> <p>★合唱全体の響きを味わいながら歌おう。</p> <p>○声部の役割を理解し、全体の響きを味わいながら合唱する。</p>	<p>・パートに分かれ、主旋律を担当するところを確認しながら歌唱させる。</p> <p>・楽曲全体を部分に分け、斉唱や主旋律の移り変わり、和音としての表現、オブリガートなどの音楽の構成を理解させる。</p> <p>・パートリーダーを中心に、曲想に合わせた表現の工夫を練習できるよう、計画させる。</p> <p>・ソプラノ、アルト、男声のそれぞれのパートに求められる特性を理解させて、パートを選ばせる。</p> <p>・自分たちだけでなく、他のパートの役割も考えさせながら、生徒主体でパート練習を進めさせる。</p> <p>・パートで検討した内容を楽譜に書き込みながら活動させる。</p> <p>・合同パート練習を行ったり、全体で合唱したりする場面の設定も考えられる。</p> <p>【評】声部の役割を生かして楽曲の特性を表現する技能を身に付ける活動を通して、「技能」を評価する。</p> <p>・強弱や速度の設定を理解させ、楽曲の構成を生かした表現の工夫を話し合いながら練習させる。</p> <p>・P. 22 「Let's Try! 指揮をしてみよう」を参考にさせる。</p> <p>・拍を明確に示したり、強弱の表し方を工夫することで、曲想を表現するための指揮ができることを体験させる。</p> <p>・指揮の基礎・基本を体験することで、指揮の見方も同時に学ばせる。</p> <p>・和音の響きを感じ取りながら表現させる。</p> <p>【評】歌唱の工夫や指揮体験を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・歌詞の内容や演奏形態の変化から生まれる曲想について話し合いながら練習させる。</p> <p>・学級としての表現を生かせる指揮者や伴奏者を選出する。</p> <p>【評】主体的・協働的に合唱を楽しむ活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【備 考】

混声三部合唱を主教材として、構造と関わらせて曲想の変化を感じ取ったり、主旋律を生かした表現を工夫したりすることで、合唱を歌唱表現する技能を身に付けさせる。また、合唱が取り入れられる学校行事を意識し、表現を引き出すために必要な指揮の仕方を指導することもできる。

【共通事項】速度・旋律・テクスチュア・強弱